

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム ほろむい二号館(やさし荘)	評価実施年月日	平成21年7月1日～平成21年7月31日
評価実施構成員氏名	鷹内 美恵子・高松 幸永・坂本 忠次・小坂 春奈・鎚城 亜沙美・松川 志保里 やさし荘		
記録者氏名	鷹内 美恵子	記録年月日	平成21年8月6日

北海道

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>		
2	<p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>		新入社員にも理念を周知し介護業務をおこなってもら指導をしている。
3	<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>		
2. 地域との支えあい			
4	<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>		
5	<p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>		地域の催し物だけでなく、町内会で定期的に行われている、草刈りや花壇の手入れなどにも積極的に参加していきます。
6	<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>自己評価表も全体で行い、外部評価の意義を理解している。また、改善時には、具体的な案を検討し取り組んでいる。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>2ヶ月に一度、定期的に運営推進会議を行っており、地域に根ざしたグループホームのあり方等を念頭に置き、会議出席者の方々との話し合いで、出された意見を活かせるよう努めています。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>運営推進会議の議事録やグループホームのお便りを届けたりと、こまめに顔を出し、その都度、運営上の疑問点や問題点を話をさせていただき、市との繋がりに努めている。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>成年後見制度について、これから学ぶ機会が多くなると思うので、その都度、介護支援専門員を交え話し合い、当てはまるご利用者には支援できる体制を作る。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>ユニット会議にて虐待防止についての話し合い、全員一致した考えで取り組んでいる。暴力行為がある方の対処方法などを話し合い声掛けにも注意し、見守りながら虐待行為が発生しないよう、注意を払っている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>ご利用者やご家族に契約内容を時間を掛け解りやすく説明しており、その後に疑問点を話し合い、ご利用者やご家族に理解・納得していただいたうえで、最後に契約者・重要事項説明書に署名・捺印を頂いている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見・不満等はいつでも話せるよう配慮し、そのつど対応している。 食事内容等も希望があれば変更するなどおこなっている。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	隔月でグループホーム便りを発行し、生活状態、行事などのお知らせすると共に、来荘時には、個々にお話をさせて頂いています。 また、体調の変化はその都度、電話や来荘時に、ご家族様に状態・結果を報告しています。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	設置した苦情箱やご家族様からの直接、意見・不満・苦情をいただき、その都度、施設長・管理者・職員で対応策を検討し、出来るだけ早く業務に反映させる。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・ホーム長会議にて各ユニットの問題点、新規申し込み者の判定、行事等の話し合いを行う。 ・ユニット会議はケアカンファレンスが中心となっている。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	必要な場合、管理者や職員間の話し合いで、シフト変更などで状況に合わせた勤務調整を行っている。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	ユニットスタッフは6名～7名からなり、基本的には固定としているが、異動や離職の場合に備え、外出行事や屋内行事などの全体行事を通じて、他のユニット利用者及び他職員との交流を図っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談を受けたときには常に「他のサービスもしやに含め、その人にとってどのような支援が必要なのか、私達にできる事は何か」という視点に立って対応している。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居時場合によっては、ご家族と一緒に泊まっていただく事もある。また、寝具や身の回りのもの等はご家族と相談し、極力新しい物を買うのではなく、今まで使っていた馴染みの物を持ってきていただき使っていただくようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	個々の能力を把握した上で、できる範囲内において、ご利用者にも家事の役割を持っていただいている。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族はご利用者にとってのキーマンとして捉え、ご家族からの情報を基に職員が対応していき、また、その状況もご家族に報告することにより、職員とご家族で情報を共有しご利用者に対して適切な支援をしている。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	上記のご利用者をご家族と職員で支援していく事と同時に職員はご利用者とご家族の中間に位置し、ご利用者にご家族の思いや状況を伝え、また、逆にご家族にご利用者の思いや状況を伝え、良い関係が持続できるよう努めている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族・縁戚者だけでなく、ご家族の方から聞いて訪ねてきた知人等・来荘者の対応をおこなっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	居室に籠りがちな方々には声掛けにて居間に誘い会話の乏しい方々には職員が間に入り、ご入居者同士の会話交流が持てる様心掛けている。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス終了後も「何時でも相談連絡ください」と声掛けや挨拶を行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人との会話の中で、希望を聞きなるべく意向に沿う事ができるよう努めている。個別での買い物や外食会なども支援している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族より生活歴を伺い把握する。またご本人との会話の中でも、今までの生活の流れを聞き、記録に残している。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	常に見守りを行い、心身の変化や体調の変化に気付けるように、職員間で協力し、情報の共有を図っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	出来るだけ、ご家族の意見を聞き、反映するようにしている。また、希望等を含め要望を聞き、希望に添えるよう計画の作成を行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	月1回程度ミーティングや業務内での話し合い、職員間の意見や情報交換を行い介護計画の見直しや作成を行っている。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別にファイルを用意し、食事・水分量・排泄状態の記入、また、生活の様子や発言等も記入している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	ご本人やご家族の状況・要望に応じ、通院や送迎等、必要な支援に応じられる様に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地区連絡会長や民生・児童委員の方々からお話を頂いたり、幌向地域ボランティアの方々からの協力、消防署の協力により普通救命の講習を設けたり等の協力を得ている。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	支援計画時及び、入退院時、その他極度に体力等の変化が見られた時等は、利用者にとって今のような支援が必要かという視点に立って、ご家族に了承を得ながら他のサービスも含めて検討を行っている。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	常時ではないが、必要に応じて、相談やアドバイスを頂ける関係づくりをしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援をしている。	提携しているクリニックドクターの定期的な訪問診療を受け、24時間連絡体制が取れており、緊急時に素早く対応できる体制を整えている。 また、ご本人、御家族が希望するかかりつけ医への受診にも対応している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症の専門ドクターはいないが、ご利用者・心療内科のドクター・ご家族・職員と、ご利用者の情報を共有しながら、内科医に受診・往診・治療・処方を受けられる支援を行っている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	事業所として看護師1名・准看護師2名が勤務している為、掛かりつけのドクターまたは提携クリニックのドクターに健康管理、状態の変化など随時相談し支援を行っている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には必ずお見舞いに行き、ご利用者の状態把握し、ドクター・相談員及びご家族とコンタクトを取り、情報を共有しながら早期退院及び退院後の受入れ体制などを相談し連携をしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	一般状態に異変が見られる時は、今後の方向性を兼ね、常にご家族に報告や意見を聞きながら、必要時にはドクターよりのムンテラ(説明)をして頂き、今後、重度化・終末期の対応をどうするかを、ご家族・ドクター・看護師・介護スタッフと相談・検討し対処している。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	ターミナルを迎えるにあたり、施設側でご利用者が混乱無く、安心して過ごせる為の準備検討を、ドクター・看護師・介護スタッフと連携を取りながら、ご家族と話し合い支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 ○住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	今迄の生活状況に近い状況で生活できるよう、環境やライフストーリー等をアセスメントしプライバシーの保持ができ、生活が尊重できるよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	個人情報の保護に努め、入居者のプライバシーや尊厳を大事にしている。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	入居者が自己決定できるよう声掛けをし、できない方には個々に併せた対応をしている。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	個々の状態を把握し、その都度その方々に合った対応をしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	訪問理美容にて個々の希望、又はご家族の意向を聞き対応している。また、お化粧品等のおしゃれも楽しんでいる。		
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	楽しくおいしい食事ができる様、食事の準備や調理の手伝い、また、後片付け等、可能な限り職員と一緒にやっている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	出来るだけご利用者の意向が通るように努力し対応している。 飲酒は何らかの行事がある時に適度な量であれば飲用して頂いている。喫煙については場所を決めて喫煙して頂いている。		体調・病状に変化がなければ、状況に合わせて、ドクターに相談しながら個々の好みを支援している。
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	1日の排泄パターンを理解している為、個々にあわせて支援を行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入浴日、時間は、スタッフが決め入って頂いているが、個々に合った介護で対応している。夏場はシャワー欲を増やし、身体の清潔保持に努めている。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ご利用者一人ひとりのペースに合わせ1日の生活の流れを整えている。 寝付きが良くなるように、入床前に温かい飲み物を毎日必ず飲んでいただき、就寝前の団欒を待っている。 どうしても不眠が続く方は、随時、かかりつけ医と相談をしている。		個々が安心して休息・入眠できる環境にする為の気配りを継続している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	各行事、外出などを考え個々にあった役割を持ち参加していただけるよう促している。 また、楽しみを持てる様に誘導もしている。		ご家族にも積極的に参加していただける様心掛け、促し等を行っている。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	2週間に1回、買い物の日を設定し、自分でお金を管理している方は好きなものを購入しています。 また、事業所で管理されている方はその都度、お支払い時にお金を渡し購入していただき、外出できないご利用者には、希望の品を注文して職員が購入しています。		定期的に購入している以外にも、ご利用者の希望があれば随時対応している。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご利用者のその日の体調や状況、天気に応じて、ホーム周辺の散歩・買い物・外食等の機会を作り、外出している。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	個々の体調に応じて、遠出が困難であったり、車椅子使用者においては外出先の状況により、希望に添えない事もあるが、個々に応じた無理のない場所を選び、幾つかの計画を立て、職員体制を調整しながら行っている。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	電話の取次ぎを行い、手紙は一部ご利用者のみだがポストへの投函等、本人の希望時に対応している。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来訪者には、明るく挨拶し笑顔で出迎え、居心地の良い雰囲気づくりに配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	ホームの方針をすべての職員が正しく認識し、身体拘束は一切行わないケアを実践している。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	ホームの方針で、日中は玄関の施錠は行っていない。ユニット入り口のドアには鈴を付け出入りがわかる様にしている。また、気配を察し、さりげない声掛け等で支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	ご利用者一人ひとりの人格を尊重し、居間・居室での過ごされ方もプライバシーに配慮し、見守り対応している。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	台所使用の包丁は、夜間は施錠管理している。鋏やカッターの事務用品は引き出しでの保管をしている。また、居室で個々に管理している方もいる。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	救命講習にて知識を学び、誤薬防止にて、職員の間で確認を強化し事故防止に取り組んでいる。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	スタッフ全員、消防署の協力により普通救命講習(Ⅱ)を受講し、応急手当・AEDの使用方法を理解している。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	非常灯設置、災害時の避難経路、場所、担当が決められ、年2回の消防訓練を行い内1回は消防職員立会いのもと、全体避難訓練を行っている。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている。	今後起こりうる事故・リスクに対して、ご家族に説明・話し合い、対応策を検討している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	施設全体で看護師が5名おり、体調変化には直ぐに対応でき、看護師の指示のもと、介護職員にも、一人ひとりの状態に応じて変化があれば対応。対処を常にスタッフ会議などで周知し、情報の共有をはかっている。 また、近隣のドクターにより、月2回の往診が行われ、一人ひとりの健康状態にも常に気を配っている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	施設には看護師が5名おり、必ず誰かが出勤となっている為、体調変化の際には、すぐに対応ができる。 近隣の内科医とも連携を取り、月2回の往診を行っている。 ユニット内でも口答・アセスメント引継ぎをしっかりと行い、職員間での情報の共有を図っている。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	服薬はスタッフが管理し必ず確認しながら適切に行っている。 受診や状態変化があり、投薬内容が変わる際には、アセスメントやノートに記載し、確実に引継ぎを行っている。 薬内容についても個人ファイルに挟み、いつでも確認できるよう対応している。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、口腔ケアを行い、洗浄剤による義歯の手入れを行っている。 また、口腔内の観察を行い、ご本人の訴えも合わせ、薬の塗布や歯科受診の検討を行う。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	専門の栄養士が配置され、献立の提供と摂取カロリーや栄養バランスを管理している。 職員はご利用者の方々の食事量や水分摂取量をアセスメントを使用し必ず把握している。		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	玄関に消毒液を置き、ご利用者・ご家族・来客者・職員の手洗いを実施している。 インフルエンザの予防接種をご利用者・職員共に受け、感染防止に努めている。 感染症マニュアルが整備されている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	手洗いと消毒を行い、調理用品・布巾の漂白・消毒・煮沸消毒を行い安全管理に努めている。 食材はすぐに冷蔵庫へ入れる。 食中毒防止マニュアルをホームに置き、職員が把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関周りの花壇に花を植え、入り口付近には飾り付けをし、親しみやすい雰囲気作りをしている。 また、玄関ホールにベンチを置き、気軽に休憩出来るような環境作りもしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	お部屋や居間は落ち着いて暮らせるよう、カーテンで光の調節をしている。 テレビの音量も不快のないよう調整している。 季節ごとに飾り付けを変えたり、花を飾り季節を感じてもらえるよう工夫している。 皆さんと作った装飾を飾ったり、行事や日常の写真を壁に貼り、それを見ながら皆さんと談話する、家庭的な雰囲気である。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	居間のソファーに座り、歌のビデオ等を見たり、皆さんが集まって談話したりと、自由に過ごせる場所がある。 皆さんの座る位置もだいたい決まっており、声をかけながらソファーで談話している。		
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室には、ご自宅で使っていた家具や生活用品が持ち込まれており、安心して過ごせる場所になっている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	空調は整備され、冬場は加湿器を設置し、空気清浄機も設置されている。 天気の良い日は窓を開け、空気の入替えを行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	廊下に手摺が設置され、手摺に掴まりながら歩行している。 浴室に関しても、手摺や滑り止めマット・シャワーチェアを設置し、安全に配慮している。 入居者に合わせ、低めのバスターアームも用意されている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	居室入口に、手作りの表札や暖簾がかかっている。 入居者に合わせて、トイレや浴室もわかり易く目印・表示をし、場所の間違いや混乱を防ぐ工夫をしている。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	ベランダから見える位置に花壇を作り花を植え、目で楽しんでいただいている。 果物などを置き、野鳥の餌付けをしている。 天気の良い日は散歩へ行き、気分転換を図っている。 時々、草むしりを手伝って頂いたり、花の植え方を、ご利用者に教えて頂いたりコミュニケーションの1つとなっている		

V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<ul style="list-style-type: none"> ① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<ul style="list-style-type: none"> ① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)